

偏芯ボルト「セーフティボルト」

<p>概要 品質 性能</p>	<p>独特な逆L型をした偏芯ボルト。一方向において、ボルト頭部及びねじ部と接合対象物との隙間がゼロになるように、ねじ部を端に寄せた形状(右写真)。 ガードレールに車両接触事故が発生すると、衝撃によりガードレールとボルトの間にできた隙間に車体を噛み込まれ、車両が通過する際引きちぎられた金属片が発生(右図①②)、後に通過する自転車利用者の負傷事故に繋がっていた。当ボルトは衝撃を受けた際ガードレールとボルトの間に隙間を作らないため、金属片が発生せず、自転車利用者の事故を未然に防ぐ。現在は主にガードレールに使われているが、他の一般工業製品へも独特の形状を活かしたい。 国土交通省による新技術情報提供システム(NETIS)掲載、愛媛県「新商品生産による新事業分野開拓者認定制度」認定製品。</p>	 <p>接触部の拡大(従来のボルト)</p> <p>① 隙間が発生 車面の衝突により、隙間が発生し、ボディを噛み込む。</p> <p>② ボディを噛みこんだ後、車面の通過により、引きちぎられ金属片が発生する。</p> <p>ボルトが偏芯しており、隙間が「0」になる為、車面ボディを噛み込まない。=金属片が付着しない。</p>
<p>用途</p>	<p>(1) ガードレールの金属片付着防止 (2) 一般工業製品全般</p>	<p>技術移転</p> <p>(1) 形態：部品・製品の供給 (2) 相手先：一般工業製品製造業 (形状の特殊性を活用できる先、ガードレール以外の利用価値を求める) (3) 地域：国内に限る</p>
<p>実用化 情報</p>	<p>[試作・実験] 完了 [製造・販売実績] 有り (国土交通省、愛媛県、兵庫県へ14000個以上の販売実績) [技術情報の提供] 技術資料、パンフレット [情報提供者] (有)アールエスカンパニー 担当者 越智 貴洋 [連絡先] (財)りそな中小企業振興財団 TEL 03-3444-9541 FAX 03-3444-9546</p>	<p>特許等</p> <p>特許番号：特許第4339304号 発明名称：「ガードレールのビーム取付構造」 登録日：平成21年7月10日 特許権者：(有)アールエスカンパニー</p>